

一般社団法人四日市青年会議所 2018 年度メールマガジン

サルビア基金交付事業
音楽のちから～協調性が響きあう～

担当：青少年育成委員会
2018年8月26日（日） 10：00～16：00



当事業に参加される皆様へ挨拶する
一般社団法人四日市青年会議所 第64代 理事長 里中 祐介 君



講師としてお越しいただいた「シエナ・ウインド・オーケストラ」
「(社)日本ヒューマンビートボックス協会」の皆様



各パートに分かれての活動（金管パート）



各パートに分かれての活動（打楽器パート）



各パートに分かれての活動（木管パート）



全体での合同演奏状況

我々青少年育成委員会では、子どもたちが日本人としての価値観から成り立つ精神文化を理解することが重要と考えております。かの聖徳太子が「和を以て貴しとなす」と言ったようにお互いに尊重し、認めあうことは日本人が1500年近く大切にしてきた価値観です。お互いに協調することの大切さを理解し学ぶことが重要であると考え、今回の「サルビア基金交付事業」を開催させていただきました。

講師として「シエナ・ウインド・オーケストラ」「社）日本ヒューマンビートボックス協会」の方々をお招きし市内の中学生を対象に音楽を通じて協調性を学んでいただきました。始めは、各パートに分かれ、与えられたパートを演奏し、プロの方のスキルや奏法などを学ぼうと必死の様子でした。しかし、全体での合同演奏においては、「自分が上手に大きな音を出せば良い」というものではなく、「他のメインのパートと協調性を持ち、演奏全体での自分の役割を考える」ことが大切であると実感していただきました。その結果、当初の演奏よりも終盤のほうが明らかに調和のとれた演奏になりました。

参加された方々に調和や協調性の大切さを実感していただいた結果だと認識しております。今回の経験を活かし、今後の生活においても調和と協調性を持って行動していただければと思います。

今後とも、一般社団法人四日市青年会議所の活動にご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

2018年度スローガン
夢を描き、理想を掲げ、現在（いま）を一生懸命に生きよう

<http://www.yokkaichi-jc.or.jp/>